

56期生 1年生保護者対象 進路説明会

2026.02.06

令和10年度 公立高校入試について

※現段階で大阪府教育委員会から発表された内容であり、今後変更の可能性もあります。

「3つの大きな変更点」

- (1) 入試期間の短縮
- (2) 学校特色枠の導入
- (3) 第2志望校への出願機会の創設

① 入試の日程の一本化

○令和9年度入試まで

特別入学者選抜（特別選抜）・・・2月19日、2月20日

一般入学者選抜（一般選抜）・・・3月11日



○令和10年度入試から

3月1日を基準日とする。

※特別選抜、一般選抜の一体化

② 当日の学力検査の問題構成の変更

○令和9年度入試まで

特別選抜→国・数・英・理・社+実技検査等

一般選抜→国・数・英・理・社



○令和10年度入試から

原則として、5教科での受験。

（国・数・英・理・社各90点 計450点）

国・数・英は3種類（A・B・C問題）の問題+共通問題

A・B・C問題は高校が選択。

（参考）

A問題・・・基礎的問題 B問題・・・標準的問題 C問題・・・発展的問題

③ 英語資格の活用に係る読替え率の変更

○令和9年度入試まで

TOEFL	IBT	IELTS	英検	読替え率
60点～120点	6.0～9.0		準1級・1級	100%
50点～59点	5.5		（対応なし）	90%
40点～49点	5.0		2級	80%

○令和10年度入試から

TOEFL	IBT	IELTS	英検	読替え率
60点～120点	6.0～9.0		準1級・1級	90%
50点～59点	5.5		（対応なし）	80%
40点～49点	5.0		2級	70%

④ 調査書の評定

中学校1年	中学校2年	中学校3年	合計
9教科×5段階×2倍	9教科×5段階×2倍	9教科×5段階×6倍	450点

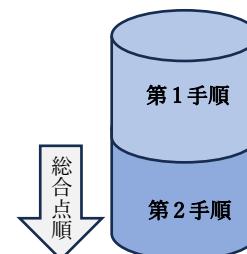
⑤ 自己申告書の廃止

→ボーダーゾーンにおける判定の廃止

⑥ 合格者決定の手順

⇒「学校特色枠」の導入

※学校特色枠・・・高校がアドミッションポリシーを踏まえて「特に求める具体的な生徒像」を提示し、求める生徒像に合致する生徒を優先的に合格とする制度。



【第1手順】
学校特色枠に応募した志願者のうち各高校の定める選抜資料及び方法に基づき合格者を決定。
※高校が求める生徒像に合致する生徒を優先的に合格

【第2手順】
第1手順で合格とならなかった者、学校特色枠に応募しなかった者を対象に総合点順に募集人員を満たすよう合格者を決定。

⑦総合点の算出

総合点は、学力検査の成績（450点）と調査書の評定（450点）に各高校が選択した倍率（I～V）をかけて求めます。（900点満点）

タイプ	学力検査	調査書
I	1.4	0.6
II	1.2	0.8
III	1.0	1.0
IV	0.8	1.2
V	0.6	1.4

⑧ 第2志望校の出願が可能

一般選抜（全日制の課程）において、当該高校を第1志望とする志願者が募集人員に満たない場合に、第2志望とした志願者から合格者を決定。

⑨ 定時制の選抜方法の変更

原則として、調査書と面接の評価をもとに総合判定を実施。

⇒定時制・通信制・二次選抜は調査書と面接の評価

（参考）

＜現在の公立高校入試＞

① 特色のある学校

エンパワメントスクール

- ・学びたい意欲を重視した学校 ⇒面接を重視
- ・学力検査は、国語・数学・英語の3教科（令和10年度入試より）
- ・例：和泉総合、など6校

② 特色のある学校

ステップスクール

- ・学びたい意欲と得意を活かす入試
⇒面接+評定の高い教科（3教科）を2倍
- ・学力検査は、国語・数学・英語の3教科
- ・例：西成、岬 2校

③ 調査書の評定

1年生：2年生：3年生 = 2 : 2 : 6

④ 総合点の算出方法

内申点+学力検査=総合点

タイプI～タイプVがあり、高等学校で決めている

⑤ 出願方法

オンライン出願

（登録、検定料入金、出願、受験票印刷、合格発表、入学会員納付）

※昨年度の入試からオンライン出願に変更になっています。

●情報収集の方法●

- ・各高校のHP（ホームページ）
- ・大阪府教育委員会 ERABO（エラボ）

出願については、締め切りがあります。

進路関係についてはとくに期日にご注意ください。